

令和2年度 小林市立南小学校 自己評価書

NO. 1

評価段階 4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

学校経営 ビジョン	○ 一人一人主体的に「確かな力（知・徳・体・食）を身に付け、自信と誇りをもち、夢や希望の実現を目指す自立した人材を育成する。 — かしこく やさしく たくましく —
--------------	---

〈知 育〉 ○ 主体的に学び、確かな学力を身に付ける子どもの育成

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	具体的な数値目標等	具体的な取組状況	自己評価		結果の考察・分析 及び改善策等
				取組別	総合	
知 育	1 分かる・できる授業 による学力向上	◎ 学び合い、考える 時間の確保と内容の 定着 ○ ICTの効果的活 用 ○ 学びたい度90% 以上 ○ 単元テスト定着率全 教科80%以上	○ 授業時数が減り、児童同士が対面する学 習形態ができない中、基礎基本の定着を中 心に進めてきた。履修内容を指導し終え、 今後、感染症対策を講じながら、学び合い 等の時間を確保していく。 ○ デジタル教科書を活用するとともに、タ ブレットに慣れさせ、活用を推進していく。 ○ チャレンジタイム（毎週月曜午後実施） での算数科の学力向上を図る。	3	3	・コロナ感染対策のため、 学び合いの活動は限られた が、考える時間は確保でき るよう努めた。 ・デジタル教科書やタブレ ットを活用する回数が増え、 指導の幅が広がった。 ・チャレンジタイムは計画 的に実施でき、習熟度が増 した。 ・学びたい度、単元テスト 定着率は目標を上回った。
	2 校内研修等を中心 にした授業の相互公開 (三校合同研修の充実)	◎ 児童の学力向上につ ながる授業改善	○ 校内研修において、「生きる力」の基礎 となる思考力・判断力・表現力の育成の推 進を図り、共通理解、共通実践を行い、全 員公開授業を実施することを通して、授業 改善を図っていく。	3		・全員公開授業を予定通り 実施し、意見を交換するこ とで、授業改善へとつなが った。
	3 家庭学習・読書活動 の充実と習慣化	○ 「こばやし学園家庭 学習」活用 ○ 「家庭読書週間」の 設定	○ 「家庭学習振り返り週間」「家庭読書週 間」を設定し、家庭と連携した家庭学習、 読書の充実と習慣化を図る。	2		・家庭学習、読書活動の様 々な手立てをとったが、取 組に個人差が見られた。 ・個に応じた指導、対策を 再考する必要がある。
	4 キャリア教育の推進	○ 市研究センター研究 と連携した取組	○ キャリアパスポートを活用し、主体的 に学びに向か力を育てる。	2		・年度途中からの取組だっ たため、十分活用できな かった。来年度は年度初め から計画的に取り組む必要 がある。